

事業名称	市民と郷土資料館の協働による地域の文化財保存活用事業		
実行委員会	三島地域資料研究会		
中核館	三島市郷土資料館		
	住所	〒411-0036 三島市一番町 19-3 楽寿園内	
	TEL	055-971-8228	FAX 055-971-6045
	ホームページ	www.city.mishima.shizuoka.jp/kyoudo	
構成団体	三島市郷土資料館ボランティアの会, 三島古文書読習会, 三島宿研究会		
事業開始時点 の課題分析	<p>1 地域の文化財（古文書、石造物等）は散逸の危機にある 地域には古文書や石造物等多種多様な文化財が存在しているが、近年、これらの文化財の散逸が起きている。（古文書を保存する家の代替わりによる古文書の散逸など。）</p> <p>2 調査や保存活用の担い手が減少している 地域で活躍してきた郷土史家の高齢化、地域の学校の教師の郷土史に対する取り組みの減少など、地域の文化財の調査や保存活用の担い手が減少している。</p> <p>3 まちづくりや生涯学習の観点から文化財への関心は高まっている 一方、三島市内では郷土の歴史や文化財をまちづくりに活かそうという機運が高まっている。また、各種の生涯学習団体や観光ガイドの会などが存在しており、郷土史や文化財への市民の関心は高まっている。</p>		
事業目的	<p>本事業の目的は資料館単独では困難な地域の文化財の調査・保存・活用を市民との協働により進めていくこと、および継続的に実施するための仕組みを作ることである。博物館が中核的な役割を担うことを利用し、古文書の整理・調査や石造物調査といった個々の活動を展示や教育普及事業につなげ、文化財の活用や情報発信を図る。また、これまで郷土史について調査・研究を行ってきた人・団体とのつながりを強めていくことにも留意する。さらに文化財の活用や人材の育成をまちづくりや地域の活性化につなげていく。</p>		
事業概要	<p>①郷土資料館ボランティア養成講座事業 古文書整理・石造物調査・郷土資料館での体験教室などの活動に取り組むボランティアを募集し、養成講座を実施した。</p> <p>②中郷地域石造物調査事業 平成 28 年度に開始した石造物調査を継続し、調査結果を蓄積した。また、材質の特定については県地学会に協力を要請した。調査がほぼ終了した梅名・安久地区については、石材調査の実施後、報告書として冊子にまとめて刊行した。</p> <p>③地域の古文書整理・調査事業 平成 28 年度に開始した古文書の整理・調査活動を継続した。 ・安久秋山家文書のクリーニングと整理 ・清水町的場贅川家の整理、仮目録（1）の刊行 平成 29 年度に古文書ボランティアの活動として作製した「くずし字ハンコ」による来館者向けの体験事業を実施した。</p> <p>④郷土資料館を中心とした地域史研究連携事業</p>		

	<p>学芸員を含む地域史研究者を講師とした連続講演会を開催することで一般の人にも現在進められている地域史研究の成果を学習する機会を提供した。また、地域史研究に関連した団体の例会などを資料館で開催するよう誘致した。以上の事業をとおして、資料館を中心とした地域史研究者・団体の連携や情報発信の強化を図った。</p>
<p>実施項目 ・ 実施体系</p>	<p>(1) 地域文化の発信の核となる美術館・歴史博物館</p> <p><input type="checkbox"/>ア 美術館・歴史博物館の情報発信、相互連携</p> <p><input type="checkbox"/>イ ユニークベニューの促進</p> <p><input type="checkbox"/>ウ 地域のグローバル化拠点としての美術館・歴史博物館</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>エ 地域に存する文化財を活用した地域共働の創造活動や地域の魅力の発掘・発信</p>
<p>施後の 成果・効果等</p>	<p>地域の文化財の中でも古文書等の歴史資料と石造物を重点的に取り扱い、市民との協働で保存・活用事業を進めた。平成28年度にボランティアの募集・養成講座を実施して事業を開始したが、平成30年度も追加でのボランティアの募集と養成講座を実施し、体制を強化することができた。その結果、平成30年度には古文書整理(月1～2回)、石造物調査(月1回)ともに定期的な活動が行えるような体制を築くことができた。また、従来から地域史の研究を行っている団体の例会の誘致や研究者による講演会の開催により、研究者や団体とボランティア・郷土資料館との連携を深めることができた。</p>

【事業実績】

①郷土資料館ボランティア養成講座事業

- ・講座6回、受講者21人うち17人がボランティアに加入

②中郷地域石造物調査事業

- ・石造物調査の会を年間9回実施、のべ参加人数 132人
- ・中郷地域のうち梅名・安久・大場地区の石造物調査(写真①)
- ・『三島の石造物 1 梅名・安久』の刊行



写真①

③地域の古文書整理・調査事業

- ・古文書整理の会の実施を年間18回実施、のべ参加人数234人(写真②)
- ・贅川家文書仮目録(1)の刊行
- ・郷土教室(郷土資料館での体験イベント)でくずし字ハンコによる古文書体験 3回実施(写真③)



写真②

④郷土資料館を中心とした地域史研究連携事業

- ・地域史研究者による講演会 3回実施 のべ参加人数 66人
- ・地域史研究団体の例会の郷土資料館での開催 3団体に声をかけ、うち2団体が実施(写真④)



写真③



写真④